



# 下野市の市民活動 補助事業を見てきて



宇都宮大学の  
陣内教授に  
伺いました

宇都宮大学教育学部 教授 陣内雄次



少子化、超高齢化が進むなか、「新しい公共」※の構築とその担い手が問われています。担い手として大きな期待が寄せられているのが、地域に関心を持ち、地域課題を自分事とし、活動を展開する市民や団体です。下野市市民活動補助事業は、そのような市民や団体を応援する仕組みです。つまり、本事業は、下野市における「新しい公共」創造のための土壌を肥やしているとも言えるでしょう。本事業の特徴は、補助を受けている団体の活動テーマの多様性と多世代の参画にあり

ます。農村活性化、古民家の活用、ジャコウアゲハの保護活動など、いずれも魅力的で素晴らしい活動ばかりです。そして、その活動を支えているのが、下野市を愛する多世代にわたる市民のみなさんです。本事業により、「新しい公共」が下野市においてさらに進化していくことを期待しています。

※新しい公共：行政という思考や行動から脱却し、市民を含む地域の様々な主体が公共の担い手となること

## らいさま NEWS

### 【自治基本条例検討委員会が再開】

第38条に5年以内に検証をする旨謳われていることから平成30年は検証の年にあたります。その組織を平成30年6月に立ち上げました。委員数は全12名で、学識経験者、関係団体の代表者、公募委員、市議会議員で構成されています。会議の中では、検証について議論するほか、市民活動支援のあり方等を話し合っています。会議を重ね、意見をとりまとめて、報告書として、市長へ提出する予定です。

### 【国際交流&国内交流】

今年度も高松市へ訪問団を組織して、8月7日市内小学生20名が訪問交流しました。8月21日には高松市小学生訪問団20名を受け入れ、和やかに交流しました。新たな国際交流員としてカロリンさんが8月に赴任しました。今後、さまざまな事業が展開される予定です。後日、広報でお知らせしますので、ご期待ください。

### Quiz

#### 【これは庁舎のどこにあるでしょうか？(床材)】

旧日光街道が庁舎敷地を通っているのをご存知でしょうか。庁舎南側駐車場の遊歩道はその継承のため一部街道を再現したもので、案内板を設置しています。来庁の際、ご覧ください。

設計：西村隆雄 監修：風祭真由美 (アキコ)



### 編集後記



らいさま第8号は行政計画への参手法や市民参画の芽を紹介しました。何年も企画を温めていた一人の想いが実現へ向かった活動や、同じく一人のアイデアから仲間を募り組織が短期に立ち上がり実現にこぎつけた活動など。一方、「らいさま」は毎号現場取材を何度も重ねて紙面編集にあっています。現場を見て生の声を聞くことで新たな発見や気づきが多々あります。今後、行政計画を策定する際もワークショップの一環で「まち歩き」をするなど、現場に出る機会が増えることで市民参画の芽もさらに育つことが期待されます。

(おか)

【表紙】市内オープンガーデンクラブ会員のお庭 (クラブ提供)